

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

◎ 新学習指導要領による教育活動の確実な実施のために教員の資質・能力の向上を図る。 ◎ 児童理解を深め、個に応じた学習指導及び生活指導の工夫を図る。 ○ ICT機器や学校図書館の積極的な活用により、思考力・判断力・表現力を育成する。 ○ 児童の多様な体験を重視し、自己理解やキャリア教育の充実を図る。		
学力向上マニフェスト ◎ 算数教育の充実 ・テスト分析を活用した個に応じた教材の工夫 ◎ タブレットPCを活用した個に応じた基礎学力の向上 基幹教科のソフトウェア(国・社・算・理)の活用 ○ 個に応じた指導の充実 ・学習指導補助員等の配置による学習指導の充実 ○ 思考力・判断力・表現力の向上を目指した授業改善の推進 (新学習指導要領に基づく授業改善) ・校内研究の充実(外部講師活用・研修の日常化)による授業力向上	創造力あふれる教育の推進 ◎ ICT機器を活用した教育環境の充実 ・オンライン学習整備のための教材開発・環境整備 ・プロジェクター、スクリーン等の整備 ○ 英語教育の充実 ・TGGを活用した、体験型授業による英語教育の充実 ◎ 都指定校 消費者教育を中心とした「法」についての研究発表に向けた教育活動の充実 ・校内研究会の講師招聘 ○ 学校図書館利活用の推進 ・読書活動の活性化のための読書バッジの作成活用	未来を拓く子どもの育成 ◎ 体力向上を図るため教育の充実 ・朝遊びや体育朝会の工夫 ・プロアスリート等による出前授業 ・障害者理解・国際理解の充実 ○ 安全教育の推進 ・安全教育に主体的に取り組む児童の育成及び防災教育の充実 ○ 地域と連携した活動の充実 ・栽培活動の推進 ・関係機関と連携した奉仕活動の実践

令和元年度全国・東京都・荒川区学力調査に関する結果(平均正答率:%)
区学力調査(全学年)

	1年		2年		3年		4年			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
自校	69.6	76.2	82.2	87.3	67.5	70.9	53.7	58.0	66.7	49.2
区	74.5	80.7	84.2	87.3	76.5	77.2	68.8	68.9	77.9	62.8
区との比較	▲ 4.9	▲ 4.5	▲ 2.0	0.0	▲ 9.0	▲ 6.3	▲ 15.1	▲ 10.9	▲ 11.2	▲ 13.6
	5年				6年					
	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科		
自校	67.1	50.9	57.8	59.9	61.1	60.4	53.9	56.2		
区	73.6	57.5	67.4	64.8	71.0	67.6	66.5	61.5		
区との比較	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 9.6	▲ 4.9	▲ 9.9	▲ 7.2	▲ 12.6	▲ 5.3		

都学力調査(5年)

	国語	社会	算数	理科
自校	61.6	59.9	52.4	52.1
東京都	67.0	66.3	60.0	56.6
都との比較	▲ 5.4	▲ 6.4	▲ 7.6	▲ 4.5

全国学力・学習状況調査(6年)

	国語	算数
自校	51	59
全国(公立)	63.8	66.6

※自校は整数、全国(公立)については小数で公表され、正確な差を導くことができないため比較については表記しません

(様式2)

令和2年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第五峡田小学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
算数教育の充実	【内容】算数は、区・都・全国調査で全学年それぞれの平均正答率を下回った。それは学年が上がるに従って正答率が低い傾向にある。6年の授業にテスト分析を活用した個に応じた学びを展開するシステムを活用する。学び合い形式も導入した授業により学力向上を図る。 【目標】個に応じた習熟度別学習プリントを使った対話的な学習を行う。2学期末の確認テストにおいて、全国平均正答率と同等以上にする。
タブレットPCを活用した基礎学力の向上	【内容】区・都・全国の各学力調査において全学年それぞれの正答率を下回った。全学年でタブレットPCを活用した個に応じた学習支援システムを活用し、児童の「分かる」学習場面を増やす。学力向上委員会による各学力調査の結果分析を、本教材の活用に生かし学力向上を推進する。個人IDの活用により家庭学習にも生かすよう連携する。 【目標】学校評価児童アンケートの「分かる授業」の肯定的評価を児童・保護者ともに令和元年度以上とする。
個に応じた指導の充実	【内容】特別な支援を要する児童の他、個別に学習支援を行ったり、寄り添ったりすることが必要な児童が各学級に数名在籍する。このことから、学習指導補助員等を配置しきめ細かな学習支援を行い、学力の向上と学習規律の確立を図っていく。 【目標】学校評価児童アンケートの「個に応じた指導」の肯定的評価を児童・保護者ともに令和元年度以上とする。
思考力・判断力・表現力の向上を目指した授業改善の推進	【内容】6年「全国学力・学習状況調査」では各教科ともに全国正答率をより下回る。新学習指導要領の完全実施に伴い授業改善を図る必要がある。このことから、教員の指導力向上のための外部講師を招聘し校内研究会を実施する。 【目標】各学年の授業において「主体的・対話的で深い学び」の場面を設定する。また、各学力調査の平均点を全国平均と同等以上とする。
あらかわ寺子屋	【内容】月火木の放課後、長期休業日を活用した補充学習で個に応じた学習指導を行い学力の定着と向上を図る。対象は2～6年の基礎学力に課題のある児童、漢字・算数検定受験者。指導には地域人材や近隣大学生を活用する。 【目標】タブレットPCを活用した「あらかわスマート・スタディ」「eライブラリアドバンス」の実施により、家庭学習の推推進・習慣化につなげる。